

8-4-18 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

(令和5年8月、令和6年3月は休会)

(2) 自主研究

令和5年度は、『カーボンニュートラル・脱炭素に向けた道路交通・安全分野のあり方に関する調査研究』を主テーマに3つのサブテーマを設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。

自主研究はサブテーマ毎にワーキングを設置して進めた(【WG①：道路交通の適正化】、【WG②：低炭素な人流・物流への転換】、【WG③：道路交通の電動化】)。

【WG①】では、道路交通施策によるCO2排出効果等の算出方法、CO2排出削減量、道路利用の適正化手法の取組事例等について整理するとともに、想定される課題や建設コンサルタントの役割をとりまとめた。

【WG②】では、新たなモビリティの導入、公共交通の利用促進、自転車の利用促進、快適な歩行空間の整備、物流の効率化、モーダルシフトとの連携等の項目について、各取組に関する方針、参考事例、推進のための支援策等について整理するとともに、想定される課題や建設コンサルタントの役割をとりまとめた。

【WG③】では、電動車、再生可能エネルギー、道路網を活用した送電網、給電施設等に関する技術動向や取組事例について整理するとともに、想定される課題や建設コンサルタントの役割をとりまとめた。

(3) セミナーの開催

「人流データ等の交通・安全分野への利活用について」をメインテーマとして開催した。

a) 開催日：令和6年3月4日(月)

b) 開催方法：WEB開催(ZOOMによるオンライン開催)

c) 参加者数：202名

d) 講演①：国土交通省 政策統括官付情報活用推進課 課長補佐 武林 様より「人流に関する国土交通省の取組について」として講演を頂いた。

e) 講演②：東京大学大学院 情報理工学系研究科 附属ソーシャルICT研究センター 准教授 伊藤 様より「「人流データの利活用」とデータ分析を考える」として講演を頂いた。

(4) 現地見学会(フィールドワーク)の開催

交通・安全に関する技術向上と実情を把握するため、専門委員会メンバーを対象として、令和5年8月26日に開業した「芳賀・宇都宮LRT」の現地見学会を令和5年12月12日(火)に開催した。当日は、現地見学会に加え、運行会社や学識経験者による講義を受講し、宇都宮市の現状、芳賀・宇都宮LRTへの期待、LRTが及ぼす影響等について意見交換を行った。

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとしての関わりなどを議論した。令和5年度における主な内容は以下のとおりである。

a) ドローン物流について

b) 高速道路の逆走対策について

c) ビッグデータポータルサイトについて

d) 地域公共交通計画の実質化に向けた検討状況等について

(6) 外部組織への活動支援等

a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

令和6年度においても、交通・安全分野に関するテーマを設定し(自主研究テーマ検討中)、建設コンサルタントの関わり方について検討する予定である。また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

(交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一)